

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第3区分

【発行日】令和5年1月10日(2023.1.10)

【公開番号】特開2022-168057(P2022-168057A)

【公開日】令和4年11月4日(2022.11.4)

【年通号数】公開公報(特許)2022-203

【出願番号】特願2022-141828(P2022-141828)

【国際特許分類】

F 24 F 11/74(2018.01)

10

F 24 F 3/044(2006.01)

F 24 F 11/80(2018.01)

F 24 F 11/62(2018.01)

F 24 F 11/46(2018.01)

【F I】

F 24 F 11/74

F 24 F 3/044

F 24 F 11/80

F 24 F 11/62

F 24 F 11/46

20

【手続補正書】

【提出日】令和4年12月26日(2022.12.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

30

高気密高断熱な建物に、複数の部屋に隣接する空調室を形成し、前記部屋には、DCモーターを搭載した送風部から送られる空気を吹き出す吸気部を設け、前記部屋と前記空調室との間には、前記部屋から前記空調室に向けた排出気流を形成する排気部を設け、前記空調室に、複数の前記送風部と空調部とを設置し、

前記送風部は前記空調部の下方に位置し、

前記送風部と前記吸気部をダクトで接続し、

前記空調室にて、前記空調部が前記排出気流を吸い込んで空調した吹出気流を、拡散させながら前記送風部の吸込気流に合流させて混合し、

前記吸気部から前記部屋に吹き出す吹出気流温度と前記部屋の室温との温度差を、前記空調部の吹出気流温度と前記部屋の前記室温との温度差より少なくした空調システムであつて、

前記送風部に、前記DCモーターの運転を制御する制御装置を設け、前記送風部の送風量を手動に切り替え可能な風量設定SWを接続し、

前記送風部は、前記風量設定SWで、前記送風量が最小風量から最大風量の間になるよう調節され、前記最小風量はゼロではなく、

複数の前記送風部の前記送風量をそれぞれ最小の送風量に設定しても、前記空調部の空調風量は、複数の前記送風部の合計送風量の100%未満の風量であり、

前記空調部に、吸込空気温度を検知する温度検知手段と空調風量と空調設定温度の設定手段と上下方向風向制御板とを設け、前記吸込空気温度と前記空調設定温度により、空調能力を制御し、

40

50

前記送風部の前記送風量と前記空調部の前記空調能力と前記上下風向制御板により、前記部屋の前記室温を前記設定温度に調節することを特徴とする空調システム。

【請求項 2】

H E M S リモコンと前記空調部を接続し、前記 H E M S リモコンに公衆回線を繋ぐ通信手段を有し、前記公衆回線に繋がる通信装置から、前記通信手段を通して、データを送信して、前記データに基づいて、前記空調部が、前記空調設定温度を決定することを特徴とする請求項 1 記載の空調システム。

【請求項 3】

H E M S リモコンと前記送風部を接続し、前記 H E M S リモコンに公衆回線を繋ぐ通信手段を有し、前記公衆回線に繋がる通信装置から、前記通信手段を通して、データを送信して、前記データに基づいて、前記送風部が、前記送風量を決定することを特徴とする請求項 1 又は請求項 2 記載の空調システム。

10

20

30

40

50